

上福岡教会 CS こひつじ科 - 中高生科

2020年9月13日

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲： ワワワいっしょに (92番)

暗唱聖句：「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。」 ヨハネによる福音書 17章 3節

賛美： Send Me! (下を参照)

おいのり (今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。)

おはなし「ハイデルベルク信仰問答書、問 59&60」

スパーリンク宣教師

みなさん、こんにちは！CS の中高生科によろこおいでくださいました。私が中高生科を担当する時に、ハイデルベルク信仰問答書を学んでいます。今日もそうしたいと考えています。

今回はハイデルベルクから使徒信条の最後のところを学びました。「我は罪の赦し、体のよみがえり、とこしえの命を信ず」でした。何で使徒信条を学んできたか 思い出しましょう。ハイデルベルクの構造は次のようになっています。問1-2は序説のように、全体を紹介します。私たち人間が幸せに生き、また、平安のうち死ぬために3つのことをきちんと知らなければなりません。まず、問3-11のところ、神様に背いた私たちの罪の大きさとこれに伴う悲惨な状況にあることを第一に語っています。問12-85は、次に、神様と和解する救いの道についてです。イエス様が唯一の救い主で、完全な従順と十字架の死によって必要な償いを私たちに代わって払ってくださり、神様が求めておられる正しさを価なしに 信じる者に、提供してくださることを学びます。そこで問題ですが、何を信じるというのでしょうか。答えは、「使徒信条にまとまっている福音ですよ」、と教えてくれます。だから、使徒信条を学んだわけですね。

では、今度、長い学びを終えるにあたり、もう一度このことを確認するために、問59&60があります。まず59問を交読しましょう。(下を参照)

つまり、使徒信条を信じて告白する私たちに「神の御前で義とされ、永遠の命を相続する」というのですね。この「義」というのは、人の基準の「良い人」のではなく、聖なる全能の神様の御心に完全にかなう、清い、罪を持たないものとしてみなされます。これなら、「罪と悲惨」の問題は消えています。すごい！

問60を交読しましょう。(下を参照)

ここでもう一度きちんと救われる道をわかりやすく記されています。宗教改革時代、つまり、神様のこと、救いのこと、教会のことを再び聖書から確認する時代において、「聖書のみ、恵みのみ、信仰のみ」をモットーにしているときですから、この60問の答えに、「信仰によってのみ救われるのですよ！」と記しています。自分の努力とか功績には少しも依かからないで、神様の恵みによります。信仰によって、完全な受け身になって、救いの賜物をただいただく、というのです。救い主がいますよ。私に代わって全てのやるべきことをなして、私のために贖いの代価を支払い、罪を洗い流し、潔白にしてくださいませ。イエス様がその救い主です。ただ信じて、受け入れなさい！

60問の答えの後半をもう一度読みましょう。

「本当ですか？私の努力や功績は必要ないですか？」これは次に取り上げる問題です。そして続けて、「では、その信仰はどこからくるのですか？」これもまた、その続きですよ。お楽しみに！

問59

それでは、これらすべてを信じることは、

あなたにとって今どのような助けになりますか。

答

わたしが、キリストにあつて神の御前で義とされ、

永遠の命の相続人となる、ということですか。

問60

どのようにしてあなたは神の御前で義とされるのですか。

答

ただイエス・キリストを信じる、

まことの信仰によるのみです。

すなわち、たとえわたしの良心がわたしに向かって、

「お前は神の戒めすべてに對して、

はなはだしく罪を犯しており、

それを何一つ守ったこともなく、

今なお絶えずあらゆる悪に傾いている」

と責め立てたとしても、

神は、わたしのいかなる功績にもよらず

ただ恵みによって、

キリストの完全な償いと義と聖とをわたしに与え、

わたしのものとし、

あたかもわたしが何一つ罪を犯したことも

罪人であつたこともなく、

キリストがわたしに代わつて果された服従を

すべてわたし自身が成し遂げたかのように

みなしてくださいませ。

そして、そうなるのはただ、わたしがこのような恩恵を

信仰の心で受け入れる時だけなのです。

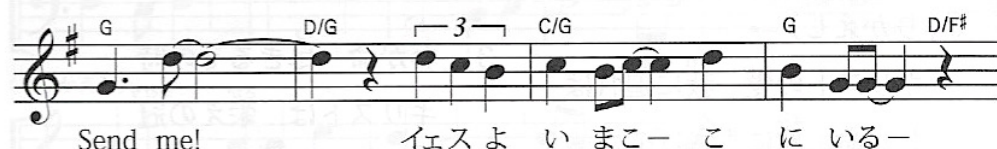
(けんきん) 今日もとっておいて、教会で再びお会いするときにまとめてささげましょう。

賛美： 我をも救いし奇しき恵み、1&2節 (下を参照)

お祈り (黙祷をもって神様が救ってくださることを信じて、感謝しましょう。)

469

Send me! (センド・ミー)



われをもすくいし

167

Amazing grace, how sweet the sound
詞 : John Newton, 1779

AMAZING GRACE
曲 : Virginia Harmony, 1831
(編曲) Austin C. Lovelace, 1964

♪=96 われをもすくいし くしきめぐみま

よーいーしみもーいーまたちかえりぬ アーメン

ピリピ 3 : 20 創世 15 : 1

1

われをもすくいし くしきめぐみ、
まよいし身もいま たちかえりぬ。

2

おそれを^{しんこう}信仰に 変えたまいし
わが主のみめぐみ げにとうとし。

3

くるしみなやみも くしきめぐみ、
きょうまでまもりし 主にぞまかせん。

4

わが主のみちかい とわにかたし、
主こそはわが^{たす}盾 わがいのちぞ。

5

この身はおとろえ、世を去るとき、
よろこびあふるる み国に生きん。